

順行性心筋保護時の大動脈弁逆流の解明

1. 研究の対象

2023 年 4 月～2026 年 6 月に、高知大学医学部附属病院で心臓血管外科手術を受けられた方（手術後に亡くなられた方を含む）。

2. 研究目的・方法

心臓や大動脈の手術では、多くの場合心臓を一時的に停止して心臓や大動脈を開いて治療を行い、再び心臓の拍動を再開するという方法をとります。その際、安全に心臓を停止するためにとる方法を「心筋保護法」と言います。順行性心筋保護はその基本となる方法で、心臓から出た直後の大動脈を鉗子という器具を使っていったん遮断し、その心臓側から心臓を停止するための心筋保護液を注入し心停止を誘導します。しかし、なかには注入し始めると心臓の出口にある大動脈弁がうまく閉じず、心筋保護液が心臓に逆流することがあります。こうなると、心筋保護をきちんと行うことができず、手術後に心不全を残してしまう可能性があります。ただ、手術前に行った心エコー検査では大動脈弁逆流が「軽い」あるいは「なし」と判断されていたのに、このような急な逆流が起こるメカニズムが今のところまったく分かっていません。

そこで、この研究ではこれまでの記録を遡って調べ、このような急な逆流が起きた方を特定して、逆流が起こらなかった方と何が異なっていたかを解析で探り当てます。もしそれが分かれば、今後は手術中に想定外の逆流が起こりそうな場合はあらかじめ別の方法をとると言った方策を立てることが可能になります。

研究期間は倫理委員会承認日～2027 年 7 月 31 日までですが、データを利用する予定日は 2026 年 11 月 1 日からです。

3. 研究に用いる情報の種類

研究に用いるのは、電子カルテに保存されている年齢、性別など基本情報に加え、心エコー検査や CT 検査などの画像などで、いずれも個人を特定されない形で検討を行います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合、患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部 連繋医工学分野 渡橋和政（研究責任者）

[TEL] 088-888-2022 [e-mail] orihashik@kochi-u.ac.jp